全体的な計画　　金丸保育園

保育理念	「げんきな子・やさしい子・考える子」子ども一人ひとりを大切にし、保護者からも信頼され、地域に根ざす保育園を目指す
保育方針	「健康で意欲的な活動をし、自分を大切にし、互いに協力し合える子ども」になるよう人間形成の基礎を築く。
園の保育目標	・健康な体・体力づくりを通して、強い心を育てる。　・思いやりの心を育てる。 ・創造（想像）力をひきだし豊かな心を育てる。　・最後までやり通す、がんばりの心を育てる。

保育時間	主な園行事
2.3号認定/基本保育時間 標準時間　7:00～18:00　延長保育　18:00～19:00 短時間保育 8:30～16:30　延長保育　7:00～8:30/16:30～19:00 ＊令和9年度より延長保育は18:30まで 1号認定/8:30～16:30	・進級説明会・保育参観・こいのぼりの集い・運動会・七夕・お泊り保育（年長）・保育参観・高良山登山（年長・大谷幼）・あそび博・バス遠足・音楽会・クリスマス会・節分・保育参観（年長）・ひな祭り・お別れ遠足・卒園式 ・6年生同窓会・学業祈願太宰府天満宮（年長）・遠足(年長)

1	乳児 ひよこ	一人ひとりの生活のリズムを整え安心して過ごす	3歳児 くま	社会性が育ち異年齢との生活や遊びを楽しむ
	1歳児 りす	身の回りのことに興味を持ちいろいろな遊びを楽しむ	4歳児 ぞう	友だちとのつながりを広げルールを守って行動する
	2歳児 うさぎ	好きな遊びを楽しみながら友だちとの関わりを楽しむ	5歳児 きりん	就学への期待や自信を持ち目標に向かって意欲的に行動する

保育の目標

《子どもが現在を最も良く生き、望ましい未来を作りだす力の基礎を培う》
＊生命の保持及び情緒の安定を図る　＊心身の健康の基礎を培う　＊愛情と信頼感、人権を大切にする心を育てるとともに自主、自立及び協調の態度を養い、道徳性の芽生えを培う
＊生命、自然及び社会への興味や関心を育て、豊かな心情や思考力の芽生えを培う　＊言葉への興味や関心を育て、言葉の豊かさを養う
＊豊かな感情や表現力を育み、創造性の芽生えを培う
《入所する子どもの保護者に対し、その気持ちを受け止め、子どもと保護者の安定した関係に配慮し、保育園の特性や保育等の専門性を生かしてその援助に当たる》

社会的責任	小学校との連携
・子どもの人権尊重 ・保育内容を適切に説明 ・個人情報の保護と苦情解決	・小学校との交流・保幼小会議・小学校参観日出席 ・園訪問・なかよし遠足（大谷幼稚園・金丸小学校） ・保育所児童保育要録を小学校へ送付 ＊資質・能力を実現するためにアクティブ・ラーニングを用いる

	年齢	乳児	1歳児(満1歳より)	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
養護	生命の保持	・保健的で安全な環境を作り、常に体の状態を細かく観察し、一人ひとりが快適に過ごせる様に授乳や睡眠などの生活リズムを整えていく	・安心できる保育士との関係の下で一人ひとりの生理的欲求が、十分にみたされる様にする	一人ひとりの生活リズムや生理的欲求を満たし、安全で安心できる環境の中で快適に生活できるようにする	・一人ひとりの健康状態を観察、把握し安全で快適に過ごせる様にする	・一人ひとりの健康状態や発達状態を把握し子ども自身も体の異常の際は知らせることができるようにする	・基本的生活習慣が身に付き自分ができたことに自信や満足感を持たせる
	情緒の安定	一人ひとりの欲求を大切に受け止め、保育士との情緒的な結びつきを強めながら人間関係の基礎を作る	・自我の芽生えを喜び、受け止めてもらう事により、保育士や周りの大人への信頼感が育まれるようにする	・子どもたちの欲求、言葉を受け止め安定した信頼関係の元で、少しずつ自分の気持ちを表現できるようにする	・自分の気持ちを伝えるだけではなく相手の思いを感じとる事の大切さを知らせる	・子どもの感性を豊かにするために受け止めながら、友達同士やりとりを重ね、お互いの良さを認め、集団の中で一人ひとりの良さを活かしていく	・見たこと聞いた事感じたこと考えた事を言葉で伝えることができるようにする

ねらい及び内容

三つの視点	乳児	教育	1歳児(満1歳より)	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
健やかに伸び伸びと育つ	・人間の基礎的な、感覚、運動機能の時期をとらえ、積極的に体作りをする	健康	・散歩や外気浴を積極的に行い、十分に体を動かす ・保育士と一緒に安全な環境のもとで模倣したり、手遊びをして体を動かす	・保育士に見守られる中で基本的生活習慣が身につき、自分のことは自分でしようとする	・生活に必要な基本的生活習慣や身の回りのことを自分で行おうとする	・健康に必要な習慣を身につけ安全に留意して行動できるようにする	・清潔と予防との関係が分かり体や身の回りを清潔にし健康維持の習慣を身につける
		人間関係	・保育士や友だちに関心を持ち、親しみを感じて一緒に過ごす事の喜びを感じる	・友だちとの関わりを通して簡単な約束事があることを知り、一緒に遊んだり同じ行動をして楽しむ	・保育士や友だちとの安定した関係の中で関わりながら共に過ごすことの喜びを味わう	・同年齢や異年齢の友だちなど様々な友だちと関わっていくなかで、思いやりや親しみを持つ	・グループの生活や遊びの中で年長児としての自覚を持ち、友だちや年下の子を気遣い思いやりの気持ちを持つ
身近な人と気持ちが通じ合う	・身近な保育士のもとで基礎的信頼感を育てる ・喃語、片言を優しく受け止めてもらい、発語や保育士とのやりとりを楽しむ	環境	・安全で活動しやすい環境の中で、身近な自然と触れ、おもしろさ心地よさ等十分に味わい、行動範囲を広げる	・簡単な造形遊びをしながら、いろいろな素材、教材に触れる ・身の回りの事物を触れ、興味を持つ	・身近な環境に興味や関心を持ち関わってあそぶ	・身近な環境に興味関心を持ち関わっていくなかで遊びや生活に取り入れようとする	・日常生活の中で数や量や図形簡単な標識や文字に関心を持つ
		言葉	・日常生活に必要な言葉が分かり、使う楽しみを味わう ・興味のある絵本を保育士と一緒に繰り返し読み、喜	・自分のしたいことして欲しいことを、言葉で表す ・遊びの中で言葉を使う事や、言葉を交わす事の喜びを感じる	・保育士や友だちとの会話や、言葉に興味を持ち、親しみを持って話しをする	・自分の経験した事や、思っていることを話し、言葉で表す	・保育士や友だちの話をよく聞いて内容を理解したり、自分の気持ちを伝えようとする
身近なものと関わり感性が育つ	・安心できる人的環境、物的環境のもとで五感の働きを豊かにする ・保育士の声や表情に安心感を覚え、快、不快を表し欲求を表現する	表現	・自分の意志や欲求を言葉や動作で相手に伝える ・リズムに合わせて体を動かしたり、保育士と一緒に唄ったり手遊びをしたりする	・うたを唄ったり、音楽に合わせて体を動かしたりすることを喜ぶ ・興味のあることや経験したことを、生活やあそびの中で表現する	・見たり聞いたり感じたりしたことを言葉で表現したりイメージを広げていく楽しさを味わう	・身近な素材や用具を使い、工夫しながら様々な表現遊びを楽しみ感性が育つ	・絵本や物語を聞き、その中で言葉の面白さ美しさなどその心情に触れ、使ってあそぶ
食育	・特定の保育士との信頼関係のもとで、一人ひとりに応じた授乳を行い、離乳を進めて健やかな発育、発達を促す		・いろいろな食べ物を見る、触る、噛んで味わう経験を通して、自分で進んで食べようとする	・食生活に必要な、基本的な習慣や態度に関心を持つ	・食事に必要な基本的な習慣や態度を身に付ける	・栽培、食事などを通して、身近な存在に親しみを持ち、すべての命を大切にする心を持つ	・生ごみリサイクルを通して、野菜作りを経験し、収穫する喜びを味わう

健康支援	・身体測定（毎月）・内科、歯科検診（年2回）・尿(年2回)
環境・衛生管理	・施設内外の設備、用具等の消毒、安全管理及び自主点検（10日に1回）・全職員の検便・全職員の健康診断
安全対策・事故防止	・毎月の避難訓練（火災、地震、不審者対応）・消防点検
保護者、地域等への支援	・個人面談・育児相談等・実習生、職場体験受け入れ
研修計画	・園内研修（ケース会議）・園外研修（継続研修等）・県外研修
特色ある教育と保育	【異年齢保育】…コーナー保育（室内コーナー・戸外コーナー）　・給食セミバイキング式・音楽遊び・派遣講師による英語教室・体育教室
地域の行事への参加	・町内の老人会（敬老会）・メゾンマリア（敬老会）・メゾンマリアデイケア（クリスマス会）・ひなまつり交流会
自己評価	保育士の評価（自己評価チェックリストの作成と子どもの評価の確立）　全体的な計画・事業計画の策定　　基本理念・保育方針・全体的な計画の理解